



クレジットカードについて知ろう



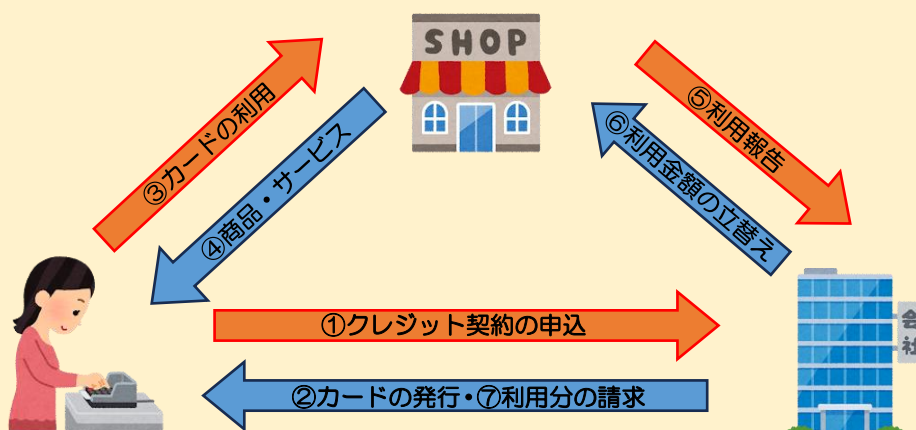
多くのクレジットカード発行会社では、18 歳以上であればクレジットカードを作成することができます（ただし、原則として高校生は作成できません）。そこで今回は、クレジットカードの仕組みや注意点をテーマとして取り上げます。

「クレジットカード」の仕組み

クレジットカードで買い物をすると、購入した商品・サービスの支払いはクレジットカード会社が立て替えます（カード利用者はクレジットカード会社に一時的に借金をしていることになります。）。その後、カード利用者はクレジットカード会社に毎月、対象となる期間に利用した金額を支払います（※）。このように、クレジットカードは、後日、「借りたお金」を支払う仕組みになっています。

そのほか、あらかじめ定められた範囲内でお金を借りることができるキャッシング機能や、ポイント機能がついているカードもあります。

（※）支払方法には、一括払い（利用代金を 1 回で支払う）、分割払い（利用代金を複数回に分けて支払う）、リボ払いなど様々な方法があります。



リボルビング払い（リボ払い）ってどんなサービス？

リボ払いとは、クレジットカードの利用金額や件数にかかわらず、毎月の返済額を一定にする返済方法をいいます。返す金額は一定になりますが、利用残高に対して 15% 程度の**手数料（金利）^{きんり}**がかかることには注意が必要です。そのため、月々の返済額が少ないほど借りたお金がなかなか減らず、支払う手数料が大きくなりがちです。返済方法でリボ払いを選択す

るときは、将来的に自分がトータルで支払う金額はどの程度になるのか慎重に考えましょう。

たとえば、10万円の商品をリボ払いで購入した場合（金利〔年利〕15%）

毎月の返済額	手数料	支払総額	支払回数
3,000 円	30,138 円	130,138 円	44 回
5,000 円	15,782 円	115,782 円	24 回
10,000 円	7,497 円	107,497 円	11 回

※金融庁「[借金シミュレーター](#)」によります。上記は一例であり、実際のリボ手数料は各社により異なります。

クレジットカードを使用する時は次のことに注意しましょう！

① 計画的に考えて利用する

クレジットカードを使うときは、借りたお金を返せるのか？ということ
を常に考えながら使うことが大切です。支払いが遅れると、クレ
ジットカードの利用停止や、延滞金^{えんたいきん}を支払わなければならない可能性
があるので注意しましょう。無計画な使いすぎは避け、自分が支払え
る範囲を考えて利用しましょう。



② 他人に渡さない

クレジットカードに記載された名義人^{めいぎにん}以外の人が、クレジットカードを
使用することは、カード会社との契約違反となり、クレジットカードが
使えなくなる可能性があります。家族や友人であっても、絶対にクレ
ジットカードの貸し借りをしてはいけません。



③ 保管・管理には注意する

他人に盗まれたり不正利用をされたりしないよう、クレジットカードの
保管・管理には注意しましょう。定期的に利用明細を確認することも重
要です。もしクレジットカードをなくしてしまった場合や、身に覚えの
ない請求があった場合には、すぐにカード会社に連絡しましょう。



担当：鈴木 彬史、福島 邦真、石田 祐一郎、福本 滯、横山 優斗

森・濱田松本法律事務所

MORI HAMADA & MATSUMOTO